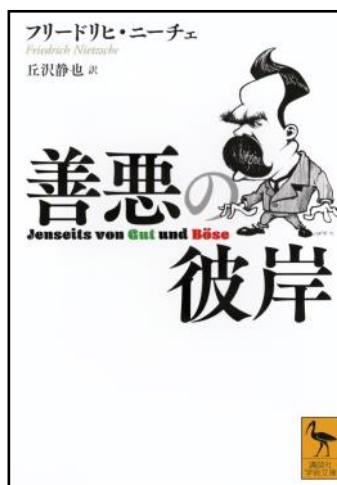


名作文庫通信

2025年夏号

新刊ご案内



『善悪の彼岸』

フリードリヒ・ニーチェ／著 丘沢静也／訳
講談社学術文庫／刊

「みんながそうしているから」を「奴隷のモラル」と笑い飛ばせ！「畜群社会」や、キリスト教道徳、神、真理など「既得権益としてのモダン」という巨大な敵に対峙しつづけたニーチェの言葉を、晴れやかに軽やかに新訳。 「TRC MARC」より

ちくま日本文学 文庫版

004 尾崎翠

尾崎翠／著 筑摩書房／刊

こおろぎ嬢／地下室アントンの一夜／
歩行／第七官界彷徨／山村氏の鼻／
詩人の靴／新嫉妬価値／途上にて／
アップルパイの午後／花束／初恋／
無風帯から／杖と帽子の偏執者／匂
い／捧ぐる言葉／詩



尾崎翠(おざきみどり) 1896-1971

鳥取で生まれ育ち、代用教員を経て日本女子大学国文科に入学し上京。雑誌「新潮」に小説「無風帯から」が掲載されたが、作品を雑誌に発表したことが大学で問題となり退学。

「アップルパイの午後」「第七官界彷徨」で注目され、「婦人公論」や「女人藝術」など、多くの雑誌に作品を発表し、また映画評論の連載が掲載された。

35歳頃に体調を崩し鳥取に帰郷。その後は表立った創作活動を行わなかった。享年74歳。

没後に独特の不思議な空気やユーモアのある作風に関心が集まり、研究者たちによって作品が発掘され、作品集や全集が出版された。

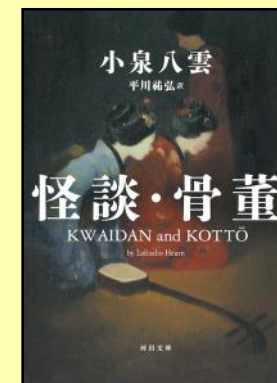
やっぱり夏は怪談

暑い夏を乗り切る一つの方法として、怪談を読むのはいかがですか？
背筋が凍る、震えるような名作と会いましょう。

怪談・骨董

小泉八雲／著 平川祐弘／訳 河出文庫／刊

小泉八雲＝ラフカディオ・ハーンの2大作品集
「怪談」「骨董」をハーン研究の第一人者が個人
完訳。怪談・奇談の原拠に出てくる日本語表現
や表記を活かし、最新の研究成果を反映。ハーン
による原注も訳出。訳注・解説付き。
「TRCMARC」より



牡丹灯籠

三遊亭円朝／作 岩波文庫／刊

友人との梅見帰りに旗本の屋敷に立ち寄った
新三郎は、一人娘のお露と出会い恋に落ちる。
二人は再会の約束をするが、新三郎は再訪の勇
気が出ない。一方、お露は恋煩いで寝込み死ん
でしまう。…カランコロンと響く下駄の音で知ら
れる怪談。





季刊「名作文庫通信」
3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話:03-3396-7999